



クラウド接続 接続先サービス設定情報の削除手順書 (Azure)

< まえがき >

1. 本書の位置づけ

本書は、beat クラウド接続サービスの利用中、または利用後に、Microsoft Azure（以下、Azure といいます。）上に残存した不要な設定情報の削除を行うお客様を対象としております。beat-box と Azure の接続解除が正常に行われなかった場合、Azure 上に beat 関連の設定情報が残存し、Azure の利用料金が発生してしまう可能性があります。本書では、不要な設定情報が残ってしまった場合の削除手順をご案内しています。

2. 前提条件

本書でご案内している手順は、Azure に Azure Portal を操作できるお客様ご自身のアカウントをお持ちであることを前提としております。

3. 注意制限事項

本書手順書内の Azure Portal 画面は、2021 年 6 月 7 日時点のものを使用しております。以降に Azure の仕様が変更された場合、項目名やレイアウト等の表示が異なる可能性がありますのでご注意ください。また、Azure の公式ウェブサイトでも各設定手順がご覧になれます。

4. 商標について

Microsoft、Azure、その他のマイクロソフト製品の名称および製品名は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

< 目次 >

1. クラウドサービスのリソース削除	1
1.1. はじめに.....	1
1.2. 接続設定解除のフロー	1
2. クラウド接続設定情報の削除手順	2
2.1. 接続設定情報の削除手順	2
2.2. ローカルネットワークゲートウェイの削除手順	4
2.3. 仮想ネットワークゲートウェイの削除手順	5
2.4. パブリック IP アドレスの削除手順	7
2.5. クライアント シークレットの削除手順.....	8
2.6. ロールの割り当ての削除手順.....	9
3. アプリケーションの削除手順	11

1. クラウドサービスのリソース削除

1.1. はじめに

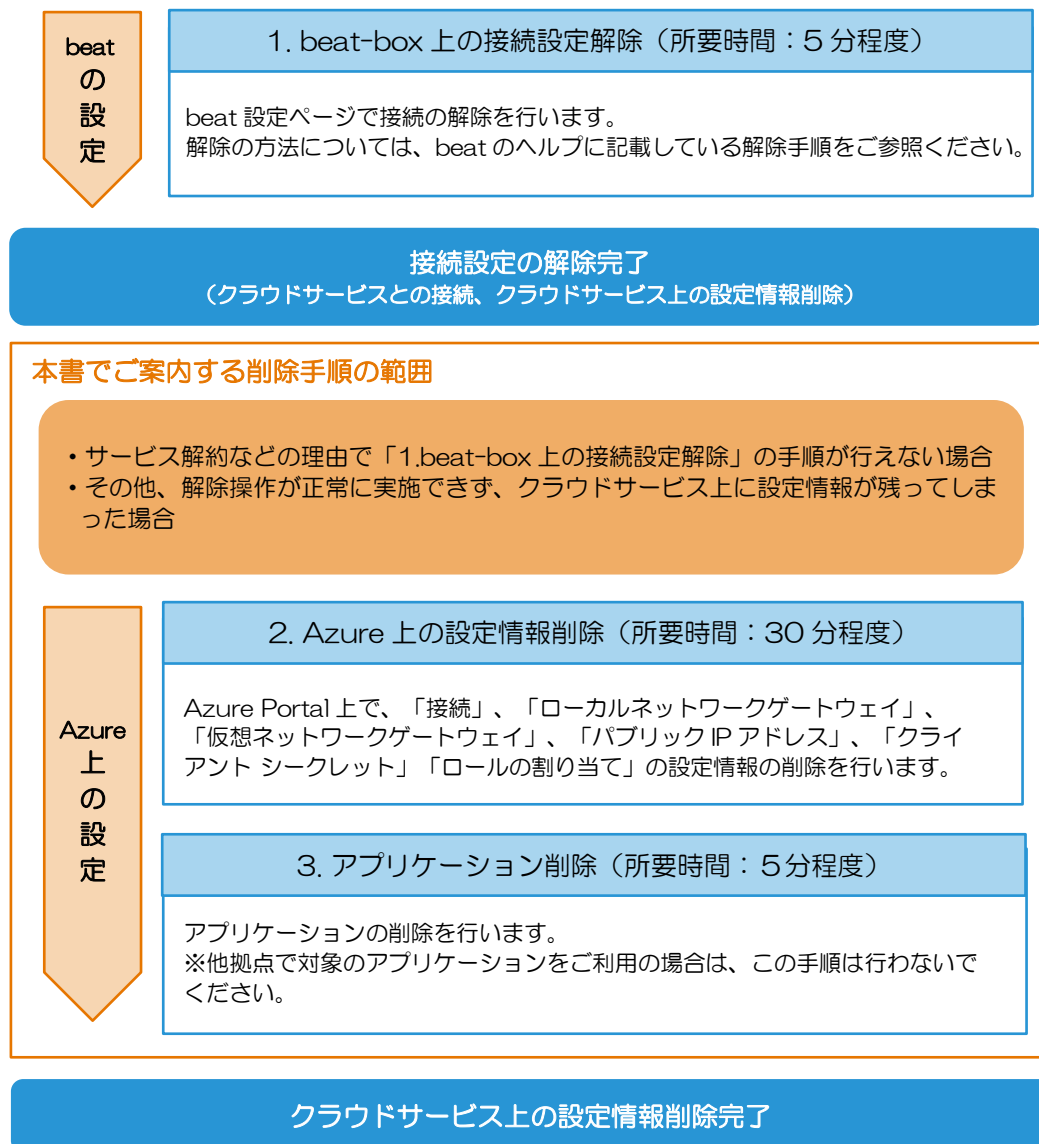
本書では、beat-box と Azure との接続解除を行った際、意図せず Azure 上に残ってしまった設定情報の削除手順をご案内しております。

正常に beat-box と Azure の接続が解除された場合は、Azure 上にある beat 関連の設定情報は自動的に削除されるため、本手順を行う必要はありません。

Azure 上に設定情報が残ったままになっている場合、Azure サービスの利用料金が発生する場合があります。

1.2. 接続設定解除のフロー

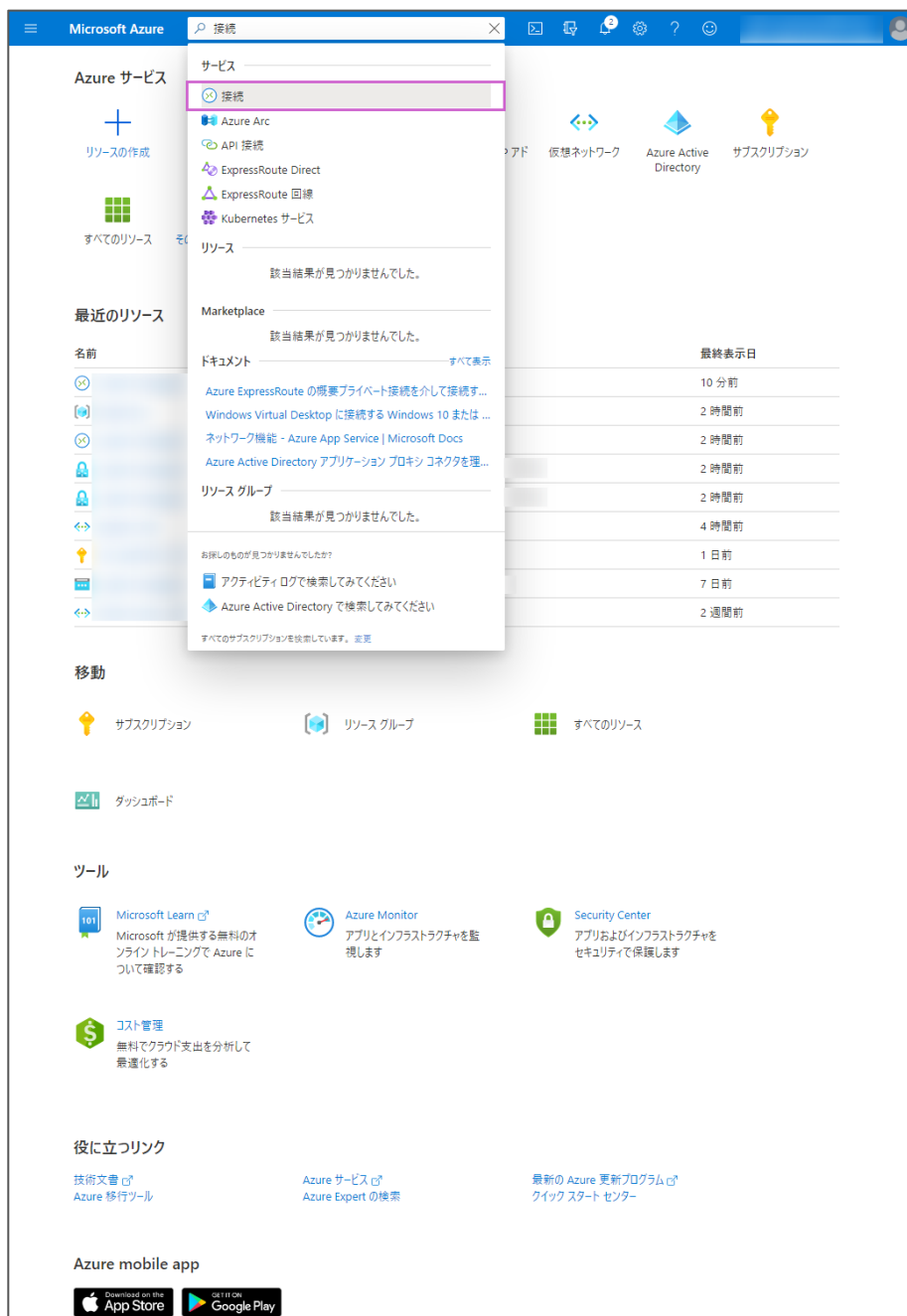
beat-box と Azure の接続解除を行う際に、お客様に実施していただく作業フローは以下の通りです。なお、下の図にて示している所要時間は目安であり、お客様の環境により異なります。



2. クラウド接続設定情報の削除手順

2.1. 接続設定情報の削除手順

1. Azure Portal にログインします。
以下の URL にアクセスし、お持ちのアカウントでログインしてください。
<https://portal.azure.com/>
2. Azure Portal のトップ画面が表示されます。
画面上部の検索バーにて[接続]と入力し、検索バーの下に表示される検索候補から[接続]を選択してください。



3. 接続画面が表示されます。
削除する接続の名前を選択してください。



補足

削除対象となる、beat-box が作成した接続は、作成時に指定したリソースグループに属し、名前欄で「z_beat-managed」から始まるものです。
条件に当てはまる接続が複数ある場合は、接続に紐づく仮想ネットワークゲートウェイの仮想ネットワークをご確認ください。
「2.2.ローカルネットワークゲートウェイの削除手順」でローカルネットワークゲートウェイを削除するため、ローカルネットワークゲートウェイ名をメモに控えておいてください。

4. 選択した接続の設定画面が表示されます。
画面上部の[削除]をクリックしてください。



5. ダイアログが表示されます。
対象の接続であることをご確認のうえ、[はい]を選択してください。

以上で、接続の削除は完了です。

2.2. ローカルネットワークゲートウェイの削除手順

1. 画面上部の検索バーにて[ローカル ネットワーク ゲートウェイ]と入力し、検索バーの下に表示される検索候補から[ローカル ネットワーク ゲートウェイ]を選択してください。
2. ローカルネットワークゲートウェイ画面が表示されます。
削除するローカルネットワークゲートウェイを選択してください。



補足

削除対象となる、beat-box が作成したローカルネットワークゲートウェイは、作成時に指定したリソースグループに属し、名前欄で「z_beat-managed」から始まるものです。
条件に当てはまるローカルネットワークゲートウェイが複数ある場合は、「2.1. 接続設定情報の削除手順」でメモに控えたローカルネットワークゲートウェイが対象となります。

3. 選択したローカルネットワークゲートウェイの設定画面が表示されます。
画面上部の[削除]をクリックしてください。



4. ダイアログが表示されます。
対象のローカルネットワークゲートウェイであることをご確認のうえ、[はい]を選択してください。

以上で、ローカルネットワークゲートウェイの削除は完了です。

2.3. 仮想ネットワークゲートウェイの削除手順

1. 画面上部の検索バーにて[仮想ネットワーク ゲートウェイ]と入力し、検索バーの下に表示される検索候補から[仮想ネットワーク ゲートウェイ]を選択してください。
2. 仮想ネットワークゲートウェイ画面が表示されます。
削除する仮想ネットワークゲートウェイを選択してください。



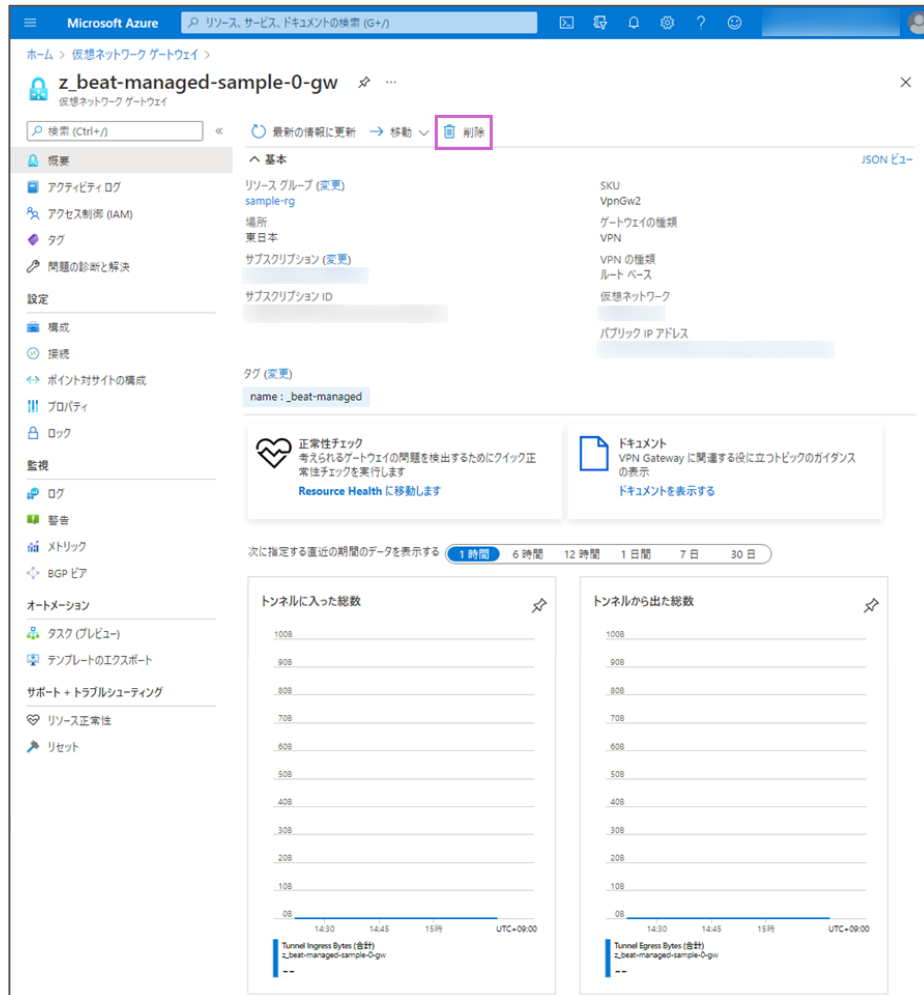
補足

削除対象となる、beat-box が作成した仮想ネットワークゲートウェイは、作成時に指定したリソースグループと仮想ネットワークに属し、名前欄で「z_beat-managed」から始まるものです。

仮想ネットワークゲートウェイに紐づく仮想ネットワークは、仮想ネットワークゲートウェイの一覧にある仮想ネットワーク欄でご確認ください。

また、仮想ネットワークゲートウェイを削除する前に、他にこの仮想ネットワークゲートウェイへ VPN 接続している機器がないかご確認ください。VPN 接続している機器がある場合は削除しないでください。

3. 選択した仮想ネットワークゲートウェイの設定画面が表示されます。
画面上部の[削除]をクリックしてください。

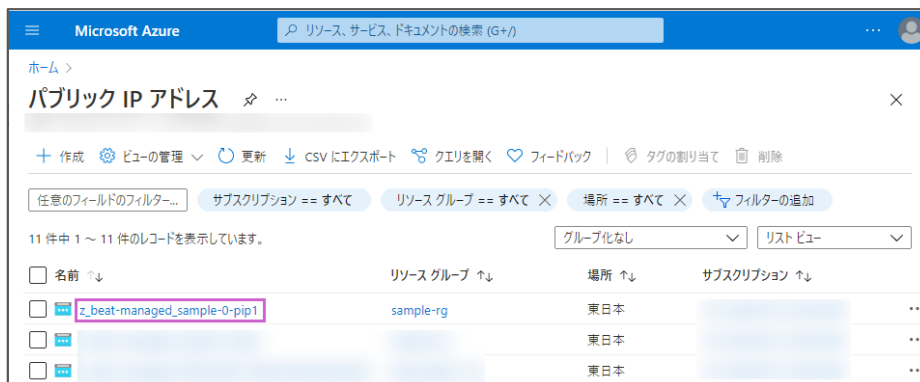


4. ダイアログが表示されます。
対象の仮想ネットワークゲートウェイであることをご確認のうえ、[はい]を選択してください。

以上で、仮想ネットワークゲートウェイの削除は完了です。

2.4. パブリック IP アドレスの削除手順

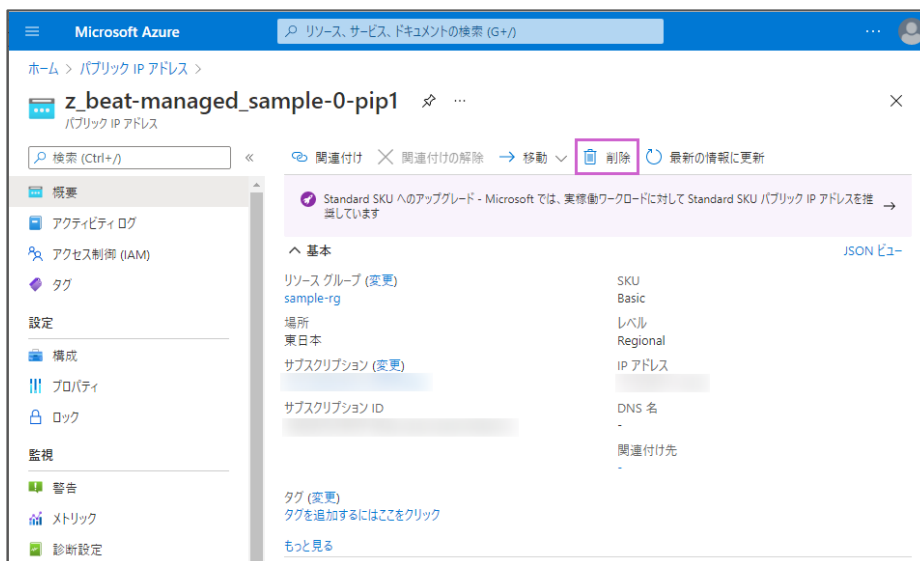
1. 画面上部の検索バーにて[パブリック IP アドレス]と入力し、検索バーの下に表示される検索候補から[パブリック IP アドレス]を選択してください。
2. パブリック IP アドレスの一覧が表示されます。
削除するパブリック IP アドレスを選択してください。



補足

削除対象となる、beat-box が作成したパブリック IP アドレスは、指定したリソースグループに属し、名前欄で「z_beat-managed」から始まるものです。もしも、「2.3.仮想ネットワークゲートウェイの削除手順」で、仮想ネットワークゲートウェイに VPN 接続している機器があるなどの理由で仮想ネットワークゲートウェイを削除しなかった場合は、パブリック IP アドレスを削除しないでください。

3. 選択したパブリック IP アドレスの設定画面が表示されます。
画面上部の[削除]をクリックしてください。



4. ダイアログが表示されます。
対象のパブリック IP アドレスであることをご確認のうえ、[はい]を選択してください。

以上で、パブリック IP アドレスの削除は完了です。

2.5. クライアント シークレットの削除手順

アプリケーションの削除を行う場合は、クライアント シークレットも削除されるためクライアント シークレットの削除手順は不要です。

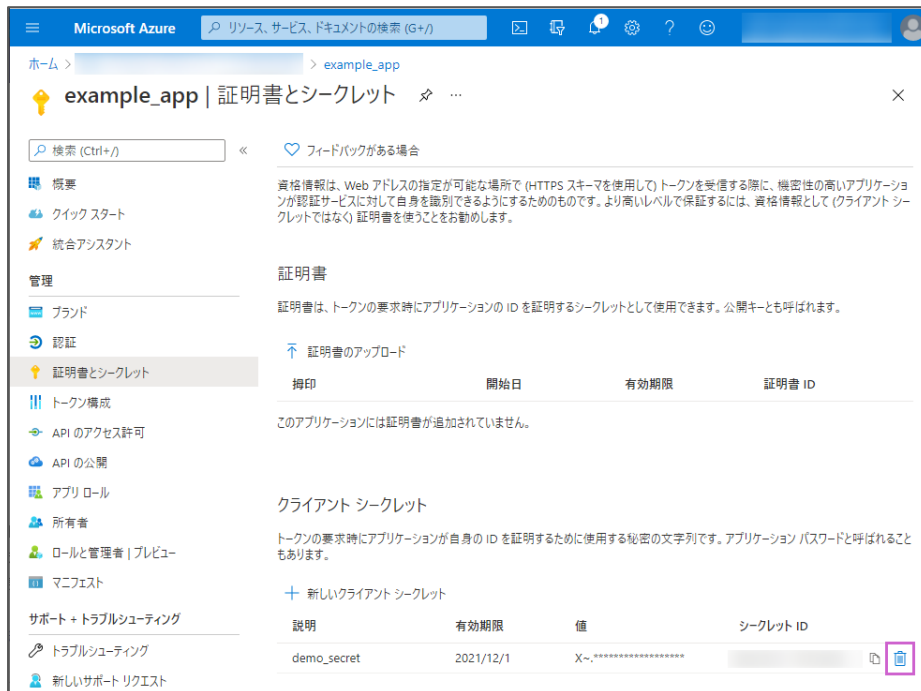
また、他拠点の beat-box で対象のアプリケーションをご利用の場合は、以下の手順は行わないでください。

1. 画面上部の検索バーにて[Azure Active Directory]と入力し、検索バーの下に表示される検索候補から[Azure Active Directory]を選択してください。
2. Azure Active Directory の画面が表示されます。
画面左部のメニューから、[アプリの登録]をクリックしてください。
3. アプリケーションの一覧が表示されます。
対象のアプリケーションを選択してください。



4. 選択したアプリケーションの詳細画面が表示されます。
画面左部のメニューから、[証明書とシークレット]をクリックしてください。

5. 証明書とシークレット画面が表示されます。
画面下部にクライアント シークレットの一覧が表示されます。対象のクライアント シークレットの右端にあるゴミ箱マークをクリックしてください。



6. ダイアログが表示されます。
対象のクライアント シークレットであることを確認のうえ、[はい]を選択してください。

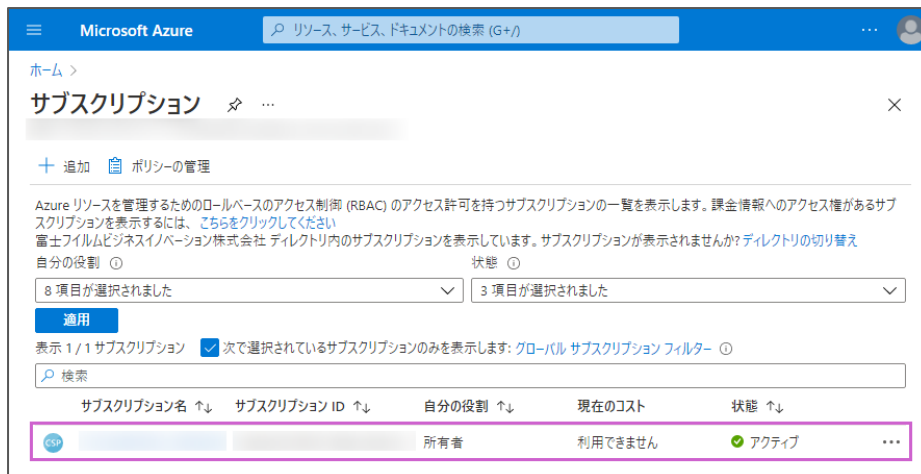
以上で、クライアント シークレットの削除は完了です。

2.6. ロールの割り当ての削除手順

他拠点の beat-box で対象のアプリケーションをご利用の場合は、以下の手順は行わないでください。また、「3. アプリケーションの削除手順」を既に行った場合、本手順を行うことで残ったロールの割り当てを削除することができます。

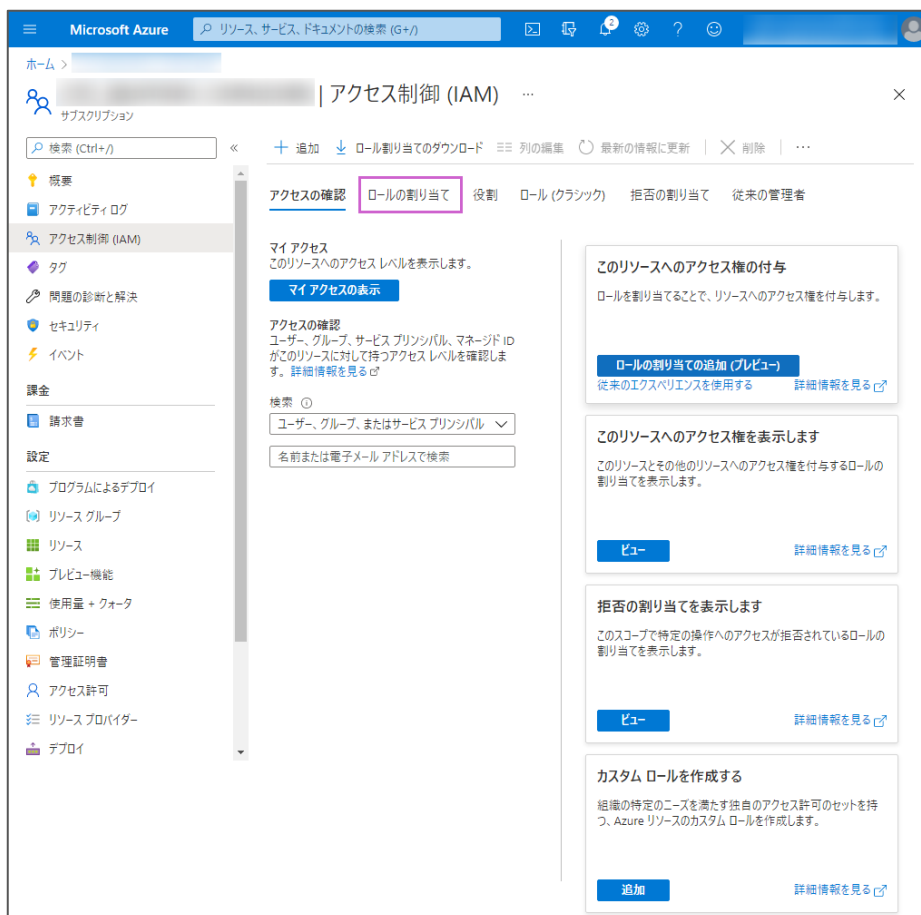
1. 画面上部の検索バーにて[サブスクリプション]と入力し、検索バーの下に表示される検索候補から[サブスクリプション]を選択してください。

- サブスクリプション画面が表示されます。
対象のサブスクリプションを選択してください。

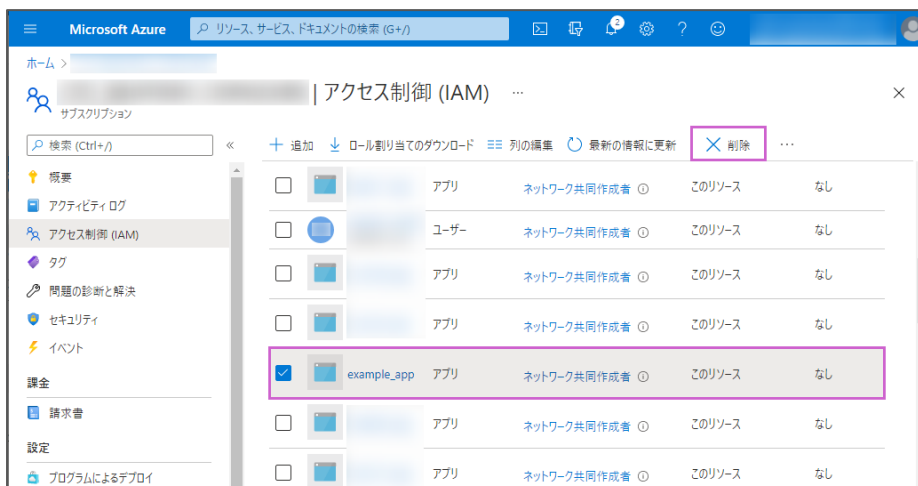


- 選択したサブスクリプションの設定画面が表示されます。
表示された画面左部のメニューから、[アクセス制御(IAM)]をクリックしてください。

- サブスクリプションのアクセス制御(IAM)画面が表示されます。
[ロールの割り当て]タブをクリックしてください。



5. ロールが割り当てられているアプリケーションの一覧が表示されます。
対象のアプリケーションのチェック欄をクリックし、画面上部にある[削除]をクリックしてください。



6. ダイアログが表示されます。
対象のアプリケーションであることをご確認のうえ、[はい]を選択してください。

以上で、ロールの割り当ての削除は完了です。

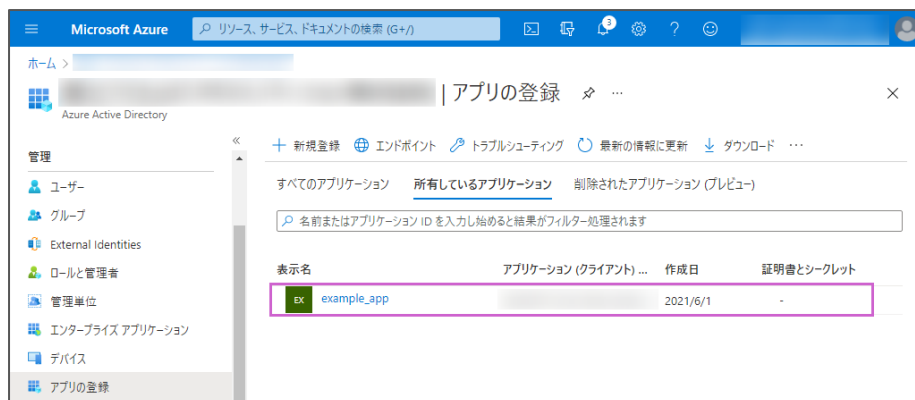
3. アプリケーションの削除手順

Azure 上のアプリケーション削除を行います。
必ず先に「2.6.ロールの割り当ての削除手順」を行ってください。
※アプリケーションの削除を先に行った場合、ロールの割り当てが不要な情報として残ってしまいます。
他に影響は与えませんが、一覧に「ID が削除されました。」と表示されます。
もしも、本手順を先に行った場合は、「2.6.ロールの割り当ての削除手順」を行うことで残ったロールの割り当てを削除することができます。

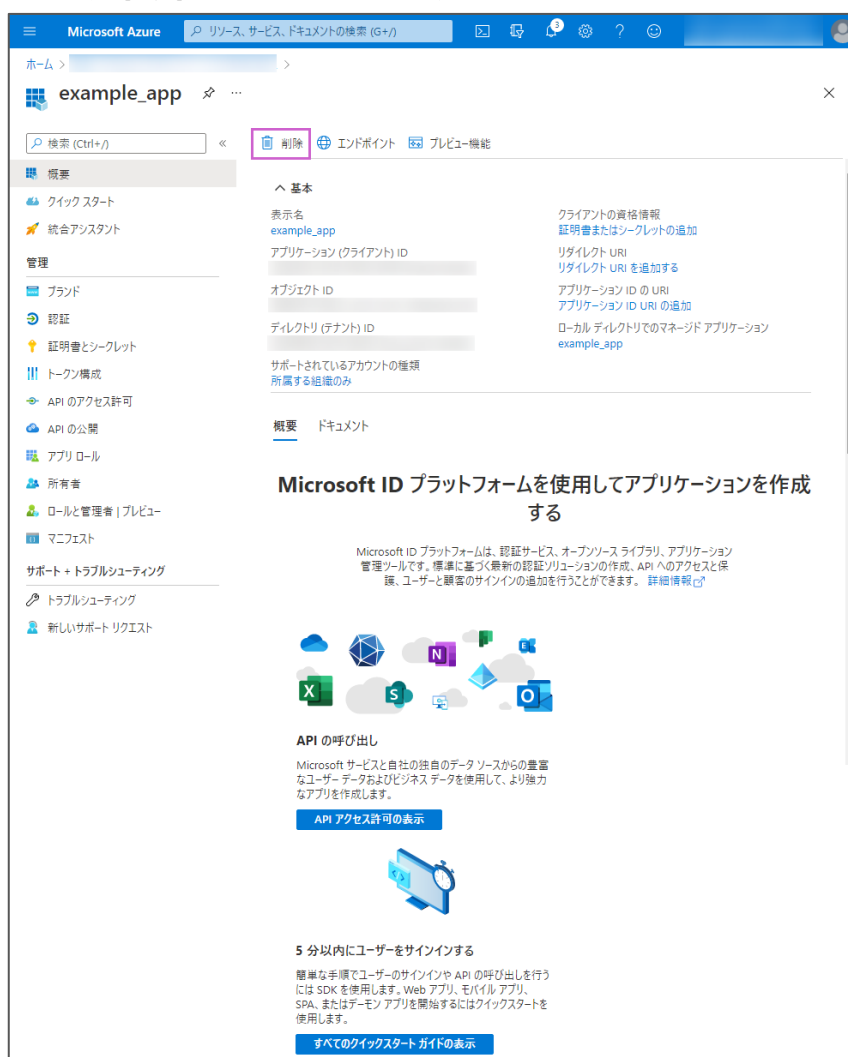
また、他拠点の beat-box で対象のアプリケーションをご利用の場合は、以下の手順は行わないでください。

1. 画面上部の検索バーにて[Azure Active Directory]と入力し、検索バーの下に表示される検索候補から[Azure Active Directory]を選択してください。
2. Azure Active Directory の画面が表示されます。
画面左部のメニューから、[アプリの登録]をクリックしてください。

3. Azure Active Directory のアプリの登録画面が表示されます。
対象のアプリケーションを選択してください。



4. 選択したアプリケーションの詳細画面が表示されます。
画面上部の[削除]をクリックしてください。



5. ダイアログが表示されます。
対象のアプリケーションであることをご確認のうえ、[はい]を選択してください。

以上で、アプリケーションの削除は完了です。

クラウド接続 接続先サービス設定情報の削除手順書（Azure）

著作者 — 富士フイルムビジネスイノベーション株式会社
発行者 — 富士フイルムビジネスイノベーション株式会社

発行年月 — 2020年 11月 初版
2021年 7月 第2版